

アルコール関連問題の解決に向けた ソーシャルワーカー(SW)の支援

～アルコール健康障害対策基本法に求めるもの～

岡崎直人

ソーシャルワーカー(精神保健福祉士)

さいたま市こころの健康センター所長

アルコール関連問題ソーシャルワーカー(ASW)協会会长

ソーシャルワーカーとは

IFSW(国際ソーシャルワーカー連盟)の定義

ソーシャルワーク専門職は、人間の福利(ウェルビーイング)の増進を目指して、社会の変革を進め、人間関係における問題解決を図り、人びとのエンパワーメントと解放を促していく。ソーシャルワークは、人間の行動と社会システムに関する理論を利用して、人びとがその環境と相互に影響し合う接点に介入する。人権と社会正義の原理は、ソーシャルワークの拠り所とする基盤である。

窪田暁子の定義によれば

生活を、また人間を、その多様性を十分に意識しながら、しかも一つの全体として全面的にこれを見渡して援助をする（「福祉援助の臨床」誠信書房 2013）

社会福祉の専門職です。

SWによる支援の実際 モデル事例 (Aさん45歳会社員、妻、娘、母の4人暮らし)

回復

悪化



1

- 〈発生予防支援〉
・相談支援(家族を含む)
・連携支援

連携

一般医療機関

2

〈進行予防支援〉

- ・アウトリーチ
- ・動機づけ支援
- ・生活基盤支援
- ・連携支援

悪循環



アルコール依存症

3

アルコール専門治療機関



4

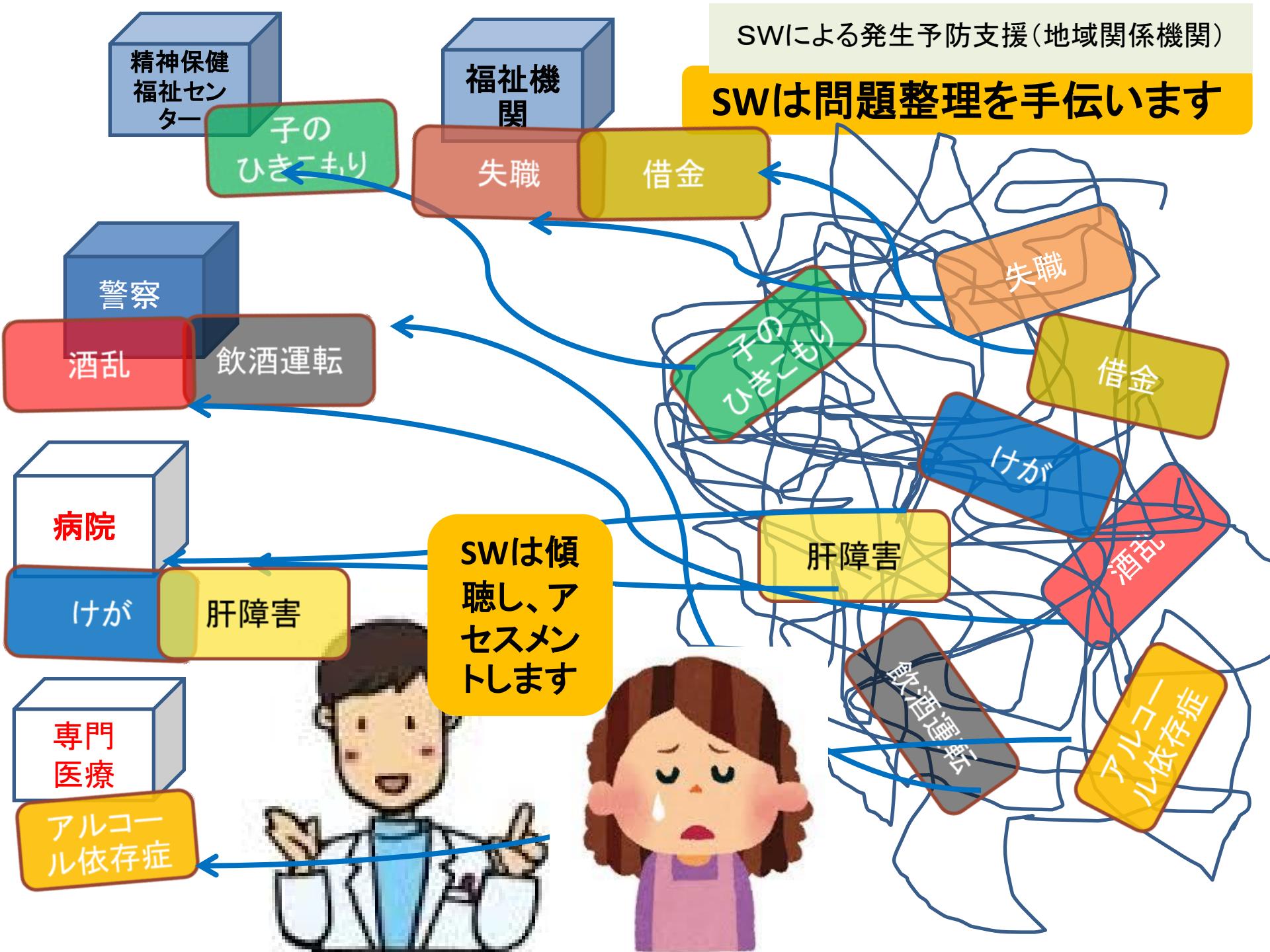


〈再発予防支援〉

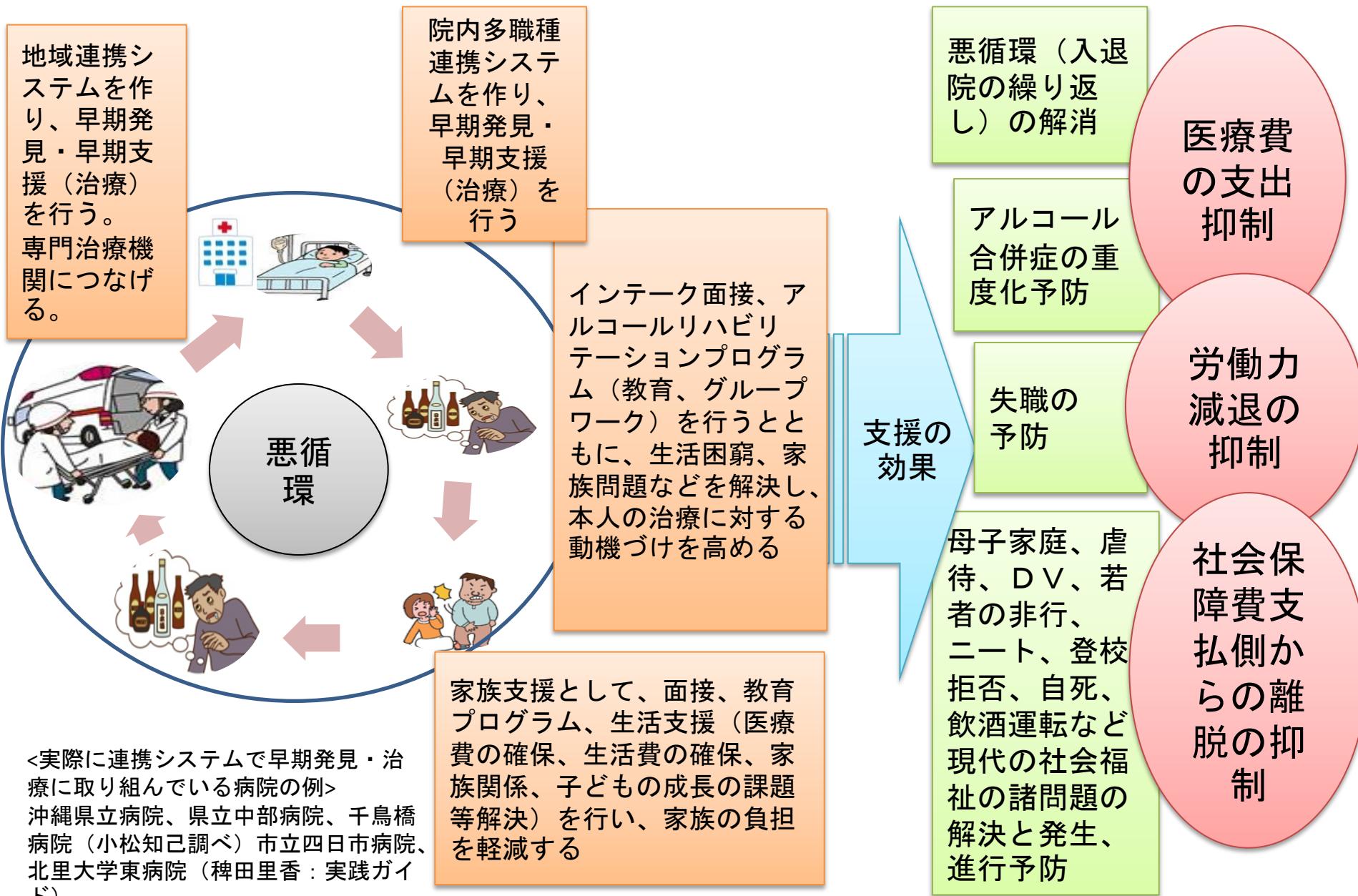
- ・相談(家族を含む)
- ・動機づけ支援
- ・生活基盤支援
- ・社会復帰支援
- ・連携支援



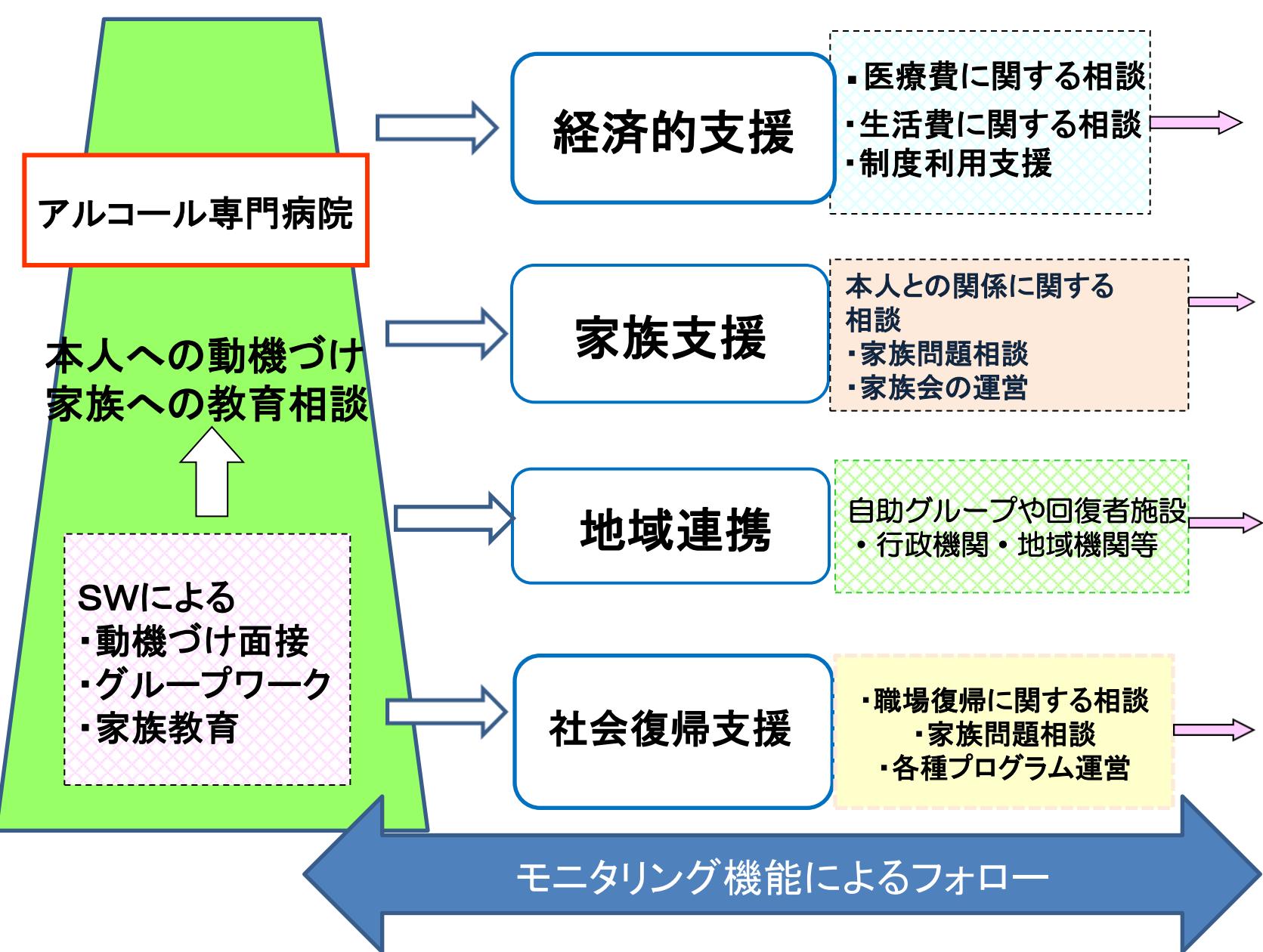
作 Hieda



SWによる進行予防支援（一般医療機関）



SWによる再発予防支援 第3次予防としてのアルコール治療専門病院



SWによる生活の再構築支援

暮らしに密着しコミュニティで支える

再発の背景にある複合的な課題を見逃さない



- ・障害や他の精神疾患と重複していないか？
- ・暴力被害など他者との信頼を築くためのリスクはないか？

コミュニティの中に本人を排除しないための受け皿を作る



- ・依存症支援の資源が乏しい地域でも居場所を作る。
- ・本人の生活に関わる支援者が、支援を通じて依存症を理解する。

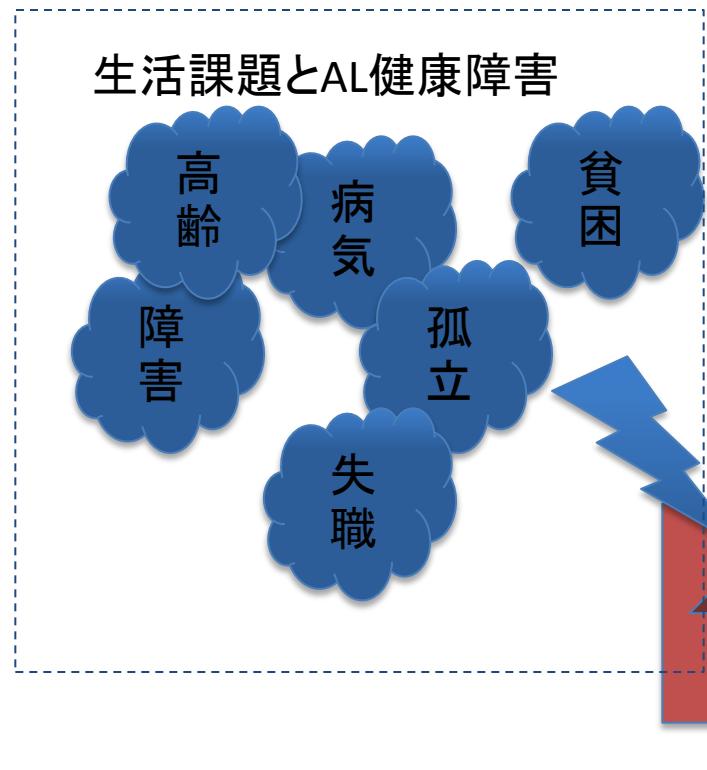
コミュニティの中に働く場、参加する場を作る



- ・コミュニティの資源と本人を橋渡しする。
- ・病気を隠さないで働く場を作る。
- ・援助される立場から、有用なコミュニティの一員へ。

地域におけるケアマネジメント機能

swによる伴走型援助



暮らしの質を変えるネットワーク

問題の発見・再発を含めて長期間に渡る援助・多機関でバトンをつなぐSW

アルコール関連問題の解決を支援するソーシャルワーカー

資格
名称

精神保健福祉士

公益社団法人日本精神保健福祉士協会
会員数：9434名/都道府県協会：46協会
活動内・国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)加盟
・人材育成研修・権利擁護事業・東日本大震災支援活動各種研修など
ホームページ <http://www.japsw.or.jp/>

社会福祉士

公益社団法人 日本社会福祉士会
会員数：35,945名/都道府県協会：47協会
活動内容：
・人材育成研修
・権利擁護事業など
・国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)加盟
ホームページ <http://www.jacsw.or.jp/>

社会福祉主事

ピア・カウンセラー
(当事者専門家)

職能
団体

公益社団法人 日本医療社会福祉協会 会員数：5,100名（1180機関）
都道府県協会：46協会
活動内容：・保健医療SW人財育成・チーム医療推進協議会への協力・国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)加盟・東日本大震災支援活動・各種研修など
ホームページ <http://www.jaswhs.or.jp/>

アルコール・薬物施設連絡会 加盟施設：全国27施設など
ホームページ <http://alshiren.jp/>

一般社団法人 日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー（ASW）協会
会員数：249人

全国7支部（北海道／東北／関東／中部北陸／関西／中四国／九州・沖縄）

活動内容：

- ・年1回全国研究大会、年1回全国研修、スーパービジョン研修
- ・宮城県石巻市を中心とした震災後のアルコール問題のある方への支援と関係者への研修（平成25年度より（みやぎ心のケアセンターからの委嘱）
- ・各支部で開催する研修会など

ホームページ <http://www.j-asw.jp/about/>

行政
機関

福祉
施設

アルコール
関連問題
支援連携

司法
機関

一般医
療機関

アルコー
ル専門医
療機関

日本アルコール関連問題学会 会員数：772名（全国7ブロック）

活動内容：

- ・年1回の定期総会と年次学術集会の開催
- ・会員の研究促進と資質の向上を図るための諸活動
- ・内外におけるアルコール関連諸団体との交流など

ホームページ <http://www.j-arukanren.com/>

所
属
学
会

SW支援の効果

社会福祉の諸問題

- ・失業
 - ・虐待
 - ・出産のリスク
- 等々

- ・病死
 - ・虐待死
 - ・自死
- ・孤独死 等々

・社会的損失と人々の不幸を低減

・年間死亡者3万5千人を低減

アル法に求めるもの

- ・社会福祉教育カリキュラム開発
- ・専門治療病院だけではない、一般医療機関や福祉関連機関で働くSWに対する研修カリキュラムの開発と実施

SWの
人材養成・育成の
開発・推進・研究
(養成校教育、現任教
育)

国民に、具体的な
相談窓口に関する
情報提供を持続的
に行うためのプロー
モーション活動の充
実

多様な場で身近に相
談できる機能を充実さ
せる。
(専門治療機関をはじめ、
市区町村の行政
機関、一般医療機関、
地域包括支援センター
などに回復支援SWを
必置)

アウトリーチ力
問題発見力
早期発見・早期支援
(治療)

参考文献・資料

- ・日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会 調査研究事業委員会「アルコール依存症リハビリテーション医療機関・福祉施設ソーシャルワーカー全国調査 平成16年度三菱財団社会福祉事業」2005。
- ・日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会 調査研究事業委員会「アルコール依存症者の社会復帰施設とその利用者に関する調査研究報告書」厚生労働省平成19年度障害者保健福祉推進事業(障害者自立支援調査研究プロジェクト)「地域活動支援センターにおけるアルコール依存症者の社会復帰促進相談事業」2008。
- ・窪田暁子「福祉援助の臨床 共感する他者として」誠信書房 2013。
- ・吉川晴子・片岡千都子「アルコール依存の早期発見と治療のための地域ネットワークー四日市での取り組みからー」『社会福祉研究』第121号、2014。
- ・アルコールソーシャルワーク理論生成研究会(代表稗田里香)『アルコール依存症者のリカバリーを支援するソーシャルワーク実践ガイド／一般医療機関によるアウトリーチ(早期発見・早期治療)のための支援地図』アルコールソーシャルワーク理論生成研究会、2014。